

高津校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成23年8月9日(火) 19:00~20:30
場 所 高津公民館
参加者数 男 53人 女 10人 合計 63人



1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名 地域防災力の向上について

討議内容

(1) 東日本大震災の被災地への支援状況と防災行政無線の運用について

<回答>

発生直後に消防隊員7名、車両2台を釜石市へ派遣したことから始まり、継続して職員を派遣している。今後は土木職員の派遣が求められるだろう。

義援金としては市民から集まった募金を、市を通じて日本赤十字へお送りしたのが約2650万円。また被災自治体への支援のほか、愛媛県が被災地の高校生など受入れのために設立した基金への出資などにあてるため、市の予算から3000万円を使わせていただいた。

物資についてはインスタント麺、食料品、紙おむつなど11万点を送付した。

避難者に対する対応としては福島県、宮城県から14名の被災者が新居浜市へ避難をしてこられ、市営住宅への入居などの支援をしている。

防災行政無線は4月1日から運用開始。市内30か所。それだけではカバーしきれない

ので、今後、広報塔を遠隔操作で鳴らすための対応をしていく。今年は、どのスピーカーを鳴らせばカバーできるかという調査をしている。

(2) 木造住宅耐震診断、耐震改修事業について

<回答>

木造耐震診断は1件当たり5～8万円程度の経費がかかるが、これに対して経費の3分の2（最高2万円限度）の補助をしている。予算的には25件分準備をしているが、平成23年度では現在までに10件の申請にとどまっている。

また、去年から設計・施工・施工管理についてもそれぞれ補助する制度を作った（あわせて最高84万円限度まで）。去年は申請が0件であったが、今年は5件分の予算措置に対してすでに5件の申請があった。

<要望>

関心も高くなっているので予算措置を十分にお願ひしたい。

<回答>

申請状況を見ながら対応をしていきたい。太陽光発電も関心が高く、これから議会とも相談して予算措置を考えていかなければならない。

<要望>

耐震診断の補助についてはもう少し分かりやすく広報をしていただきたい。

(3) 小中学校の耐震化工事の完了年度（平成24年）校舎、体育館の耐震化は十分なのか。

<回答>

平成18年度から始まった小中学校の耐震化工事が24年度で完了する（休校中の大島を除く）。高津小学校、東中学校は平成20年度に完了した。

専門家による診断と設計を行っており、Is値（※建物の耐震性能を表す指標で、これが大きければ大きいほど耐震性が高いと判断される。）が0.6以上でよいとされているが、新居浜市では0.7としていて、安全性は十分保たれていると考えている。

(4) 新居浜市安全、安心のまちづくり行動計画の状況

<回答>

「新居浜市安全安心のまちづくり条例」により定められた基本理念を実現するために、行政や関係機関・市民・事業者がそれぞれ取り組む具体的な内容を明らかにする「新居浜市安全安心のまちづくり行動計画」を本年5月に策定した。行動計画は、「災害に強いまちづくり」「事故や犯罪のないまちづくり」「健やかに暮らせるまちづくり」「快適な環境の保全」の4章からなる。現在、この行動計画にもとづいて必要な対応を進めているところである。

<関連する事項>

- ・「自助」「共助」「公助」
- ・南海地震発生時の予想（中央防災会議） 震度5弱～6弱 津波2m（満潮時）
これは東日本大震災前の想定であることから今後見直されることが予想される。まずは人命優先という視点で対応も見直していかなければならない。
- ・市内の店舗と物資の備蓄などの協定
- ・16年災害以降、60か所程度の急傾斜地の防災工事を行い、全体では90か所程度が終わった。全体では186か所あり、それぞれに必要な対応をしている。

（5）意識向上のため、防災講演会、フォーラムの開催により、指導者、インストラクターの養成等の計画はどうか

<回答>

愛媛大学の先生による講演、自主防災リーダーの研修会、県の防災インストラクターに2名など。

今年から3年間で、防災士という資格者を、公費で150名養成したいと考えている。各自治会や校区の中でお願いしていきたい。

<意見>

連合自治会でも役員研修会で消防隊員の方の被災地での経験談などをお話いただく予定である。多く参加をしていただきたい。

2. 校区設定市政課題

課題名 東雲町交差点右折レーンの新設

討議内容

<趣旨>

東雲町の交差点であるが、2～3年前から東進方向、西進方向について右折レーンを要望している。交通量を見ながら対応したいという回答をもらっているが、このところ、とくに多喜浜工業団地のトラックターミナルや東港のコンテナヤードなどの施設が充実したことなどにより、トラックの交通量が非常に増えている。さらに近い将来、新居浜東港線が郷山を抜けて新居浜ICからつながってくると、ますます交通量の増加が予想される。交通量の調査も必要と思うが、開通に合わせて右折レーンができるようお願いしたい。

<回答>

東西方向、南北方向ともに県道であるが、とくに東西方向の県道については主要交差点について順次交差点改良を行っていただいている。東雲町交差点についてもその流れの中で要望をしていきたい。

新居浜東港線（南北方向）については郷と観音原の間が平成26年度の開通ということである。県としてはその開通後の交通量を調べたうえで東雲町交差点をどうするか決めたいというのが、現在の状況のようである。

<要望>

ぜひ、県と交渉していただいて、なるべく早くできるようにお願いしたい。

3. 地域課題

課題名 宇高町一丁目地域の消火栓の整備

質疑応答

<趣旨>

宇高町一丁目の東西に走っている道路には消火栓の整備がまったく無い状況である。この地域は地下水を利用している世帯が多く、上水道管がきていないために整備が難しいと聞いているが、整備を希望する声が多い。

<回答>

現在は水道配水管が敷設されていないため、消火栓を設置することは困難である。

しかし、宇高町一丁目付近における消防水利については、消火栓16基・防火水槽6基を配置（地図で位置を説明）しており、現状の消防水利で災害対応は可能であると考えている。

<要望>

対応は可能であるということだが、不安に思っている住民もいるので、その不安が解消されるような説明をいただける機会を設けてほしい。

<参考>

先日の桜木町の家屋火災での消防活動について質問があったため、消防隊員から説明を行った。

課題名 清水町公園の遊具等の整備

質疑応答

<趣旨>

清水町公園の遊具は設置から20年以上がたっている。一部はすでに撤去されてしまい、現在は鉄棒・ブランコ・すべり台がある。住民から、もう少し充実してほしいという声もあり、整備を要望したい。

<回答>

清水町公園は漁港用地内の公園として農林水産課が管理している。昔と比べて子供が減

ってきていること、高齢者の方からも公園を利用したいという声があがるなど、昔とは状況が変わってきている。少し離れてしまうが松の木公園や河川敷もあり、それらも含めてどのように活用すべきか、もう少し時間をかけて考えていきたい。